



第19回日本臨床毛髪学会 学術集会

アフタヌーンセミナー

Fullerene as a new nanomedical agent for skin and hair diseases

◆ 日時: 2014年11月23日(日) 16:20 ~ 16:50

◆ 会場: 岡山コンベンションセンター

座長

別府ガーデンヒルクリニック くらた医院 院長
日本臨床毛髪学会 常任理事、日本臨床皮膚外科学会 理事

倉田 莊太郎 先生

講演

フラーレンが拓く皮膚と毛髪の新しいナノ医学治療

大阪大学大学院医学系研究科
皮膚・毛髪再生医学寄附講座 准教授

乾 重樹 先生



講演

フラーレンが拓く 皮膚と毛髪の新しいナノ医学治療

大阪大学大学院医学系研究科
皮膚・毛髪再生医学寄附講座 准教授

乾重樹先生

フラーレンは炭素60個からなるサッカーボール状の分子構造を持つ物質であり、グラファイト、ダイヤモンドに次ぐ第3の炭素同素体といわれる。ラジカルスカベンジャーとして強力な抗酸化作用を有し、種々の生物学的活性が期待できる。我々はフラーレンが毛成長等にどのような影響を与えるか調べるため、ヒト男性頭皮にフラーレン配合トニックを塗布し、その効果を単盲検臨床試験にて検討した。その結果、コントロールトニック塗布

部位に対してフラーレントニック塗布部位では24週後に毛成長速度が有意に16%増加することがわかった。フラーレンは活性酸素種から細胞を保護する作用があることから、フラーレンの毛包内のいずれかの細胞への保護作用を介していたことが推測される。さらに痤瘡や顔の目立つ毛穴に対する効果とその作用機序についても調べたので、あわせて紹介したい。

略歴

1991年 大阪大学医学部医学科卒業
1991年 大阪大学医学部皮膚科学教室入局
1992年 大阪労災病院皮膚科医員
1996-8年 米国留学
(ウイスコンシン大学、ロチェスター大学)
この間、1997年 大阪大学大学院博士課程修了、学位取得
1999年 大阪大学医学部皮膚科学教室医員
2000年 大阪大学医学部皮膚科学教室助手
2006年- 大阪大学医学部皮膚・毛髪再生医学寄附講座
准教授(附属病院皮膚科兼任)

専門医資格

日本皮膚科学会専門医、日本臨床毛髪学会認定医、日本褥瘡学会認定師(医師)、日本抗加齢医学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医

学会役職など

日本臨床毛髪学会理事、日本研究皮膚科学会評議員、日本アレルギー学会代議員(専門医制度試験問題作成非常任委員)、日本抗加齢医学会評議員、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会評議員(広報委員、学術教育委員、パッチテスト試薬研究班委員)、日本美容皮膚科学会評議員(雑誌編集委員、利益相反に関する小委員会委員長、広告に関する小委員会委員)、日本褥瘡学会評議員、日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方会機関誌「皮膚の科学」編集委員、Associated Faculty member of F1000 (Post-publication peer review)、Editorial Board, The Open Allergy Journal, ISRN Dermatology, Journal of Cosmetics, Dermatological Sciences and Applications, Case Reports in Dermatological Medicine

受賞

第3回国際毛髪科学学会、Oral Presentation Award, 2001, 第27回日本接触皮膚炎学会学術大会 ポスター賞2002, JSID Shiseido Fellowship Award, 2003.第4回ガルデルマ賞, 2003. 第24回日本美容皮膚科学会 アイデアアンドイノベーション賞, 2006, 第107回日本皮膚科学会総会 ポスター賞, 2008, 第8回日本抗加齢医学会総会 奨励賞, 2008, 第72回日本皮膚科学会東部支部総会 会長賞, 2008, 平成22年度日本皮膚科学会雑誌論文賞(The Journal of Dermatology), 2010

